

# 効率的に 公共施設を運用します

問い合わせ先

市役所本庁舎財産管理課

☎ (0857)20-3112

Vol.3 分析 施設の性質

施設の重要性、必要性の度合いを計り、施設のあり方を具体的に検証していきます。

## 第1回と2回では、公共施設の

利用状況や経費、利用料収入を基にした施設の運営状況をご紹介しました。

しかし、それだけでは施設の重要性、必要性を計ることは困難です。まずその施設の重要性、必要性の度合いを計るため、施設の性質の評価を行い、施設のあり方を具体的に検証する必要があります。

そこで、現在予定している施設評価の方法の一例をご紹介します。

### ■施設の公共性の評価（目的の再確認）

行政が市民の税金を投入して施設を設置する根拠は、その施設に「公共性」があるからにほかなりません。

しかし、施設はさまざまな性質を有しており、一口に「公共性」といっても、簡単には判断が付きにくいものです。

そこで、まず、「公共性」を「公益性」と「必需性」の

2つの軸から成り立つものと想定し、施設の現況および当初の設置目的、施設の現在・将来需用の視点から、各施設の性質が両軸で表される領域（エリア）の、どの箇所に位置付けられる性質のものかを評価します。

説明をもとに施設の性質を分類すると下図のようになります。どのような施設がどんな評価になるのか、一例を簡単にまとめてみました。

以上のことを踏まえながら、①その施設を市が運営していくのはいいか？②どれだけその施設が必要なのか？ということを検証し、今後の施設のあり方を見直していきます。なお、経過や結果については随時、市報やホームページなどでご紹介します。

